

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 アンドール株式会社

コード番号 4640 URL <http://www.andor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 笹淵裕司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 青柳光昭

TEL 03-3243-1711

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,711	24.4	178	259.7	201	261.7	160	100.9
23年3月期第3四半期	1,375	45.1	49	—	55	—	79	403.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 159百万円 (106.7%) 23年3月期第3四半期 76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31.01	—
23年3月期第3四半期	15.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,684	971	57.7
23年3月期	1,533	812	53.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 971百万円 23年3月期 812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	17.6	210	71.2	220	71.6	170	25.3	32.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	5,184,140 株	23年3月期	5,184,140 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	5,021 株	23年3月期	3,841 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,179,719 株	23年3月期3Q	5,180,299 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災から一部回復の兆しがみられるものの欧州の財政不安や長期化する円高等により引続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、CAD/CAM/CAEをキーワードにしたパッケージソフトウェアビジネスに加え、総合エンジニアリングビジネス事業を重点的に推進し、大手製造業をユーザーとした技術者のアウトソーシングサービスおよび受託開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,711,642千円（前年同期比24.4%増）となり、営業利益が178,849千円（前年同期比259.7%増）となりました。経常利益は201,783千円（前年同期比261.7%増）となりました。

法人税等の計上により四半期純利益は160,618千円（前年同期比100.9%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「EASY DRAW」並びに「CADSUPER FX II」及び「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、新たな試みとして「シンククライアントCADシステム」に対応した新製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、仕入商品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案に努めるソリューション営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

この事業の売上高は295,243千円（前年同期比6.2%増）となり、営業利益は61,728千円（前年同期比39.7%増）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を活かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

この事業の売上高は1,397,620千円（前年同期比29.5%増）となり、営業利益は107,685千円（前年同期は営業損失2,000千円）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は18,778千円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は、9,435千円（前年同期比25.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（409,831千円から394,241千円へ）15,590千円等があったものの、現金及び預金の増加（340,278千円から491,658千円へ）151,380千円、仕掛品の増加4,495千円、投資有価証券の増加（211,406千円から227,564千円へ）16,157千円等により前連結会計年度末に比べ150,803千円増加の1,684,497千円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（94,369千円から102,807千円へ）8,438千円、未払法人税等の増加（15,158千円から34,229千円へ）19,071千円、流動負債のその他の増加（65,526千円から83,406千円へ）17,880千円、退職給付引当金の増加（112,540千円から122,349千円へ）9,809千円等があったものの、賞与引当金の減少（44,190千円から20,142千円へ）24,047千円、長期借入金の減少（228,200千円から189,990千円へ）38,210千円等により前連結会計年度末に比べ8,119千円減少の712,810千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少（16,003千円から14,452千円へ）1,551千円があったものの、利益剰余金の増加（295,613千円から456,232千円へ）160,618千円により前連結会計年度末に比べ158,923千円増加の971,687千円となり、自己資本比率は57.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

詳細につきましては、2月7日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,278	491,658
受取手形及び売掛金	409,831	394,241
有価証券	7,707	7,993
仕掛品	—	4,495
貯蔵品	7,534	7,300
繰延税金資産	7,996	8,276
その他	71,626	72,385
流動資産合計	844,976	986,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	132,696	134,171
土地	189,346	189,346
その他（純額）	2,130	2,119
有形固定資産合計	324,173	325,636
無形固定資産		
のれん	41,542	33,753
ソフトウェア	55,969	42,948
ソフトウェア仮勘定	6,531	22,443
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	107,263	102,365
投資その他の資産		
投資有価証券	211,406	227,564
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	470	425
繰延税金資産	11,173	10,173
その他	42,029	39,780
貸倒引当金	△8,498	△8,498
投資その他の資産合計	257,280	270,143
固定資産合計	688,717	698,145
資産合計	1,533,694	1,684,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,369	102,807
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	55,440	55,440
未払法人税等	15,158	34,229
前受金	68,240	66,180
賞与引当金	44,190	20,142
その他	65,526	83,406
流動負債合計	372,924	392,206
固定負債		
長期借入金	228,200	189,990
繰延税金負債	551	174
退職給付引当金	112,540	122,349
役員退職慰労引当金	5,101	6,724
その他	1,611	1,365
固定負債合計	348,005	320,603
負債合計	720,929	712,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	295,613	456,232
自己株式	△742	△886
株主資本合計	796,760	957,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,003	14,452
その他の包括利益累計額合計	16,003	14,452
純資産合計	812,764	971,687
負債純資産合計	1,533,694	1,684,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,375,522	1,711,642
売上原価	1,040,490	1,271,134
売上総利益	335,032	440,507
販売費及び一般管理費	285,309	261,657
営業利益	49,722	178,849
営業外収益		
受取利息	673	377
受取配当金	496	1,713
固定資産賃貸料	585	665
還付金	274	—
助成金収入	3,610	—
持分法による投資利益	5,045	23,439
雑収入	230	98
営業外収益合計	10,915	26,292
営業外費用		
支払利息	4,791	3,349
雑損失	58	9
営業外費用合計	4,850	3,359
経常利益	55,787	201,783
特別利益		
賞与引当金戻入額	29,032	—
貸倒引当金戻入額	133	—
役員退職慰労引当金戻入額	5,121	—
投資有価証券売却益	58	2,997
その他	3,345	—
特別利益合計	37,691	2,997
特別損失		
投資有価証券売却損	—	273
投資有価証券評価損	3,644	4,818
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,282	—
特別損失合計	4,926	5,091
税金等調整前四半期純利益	88,553	199,688
法人税、住民税及び事業税	3,618	38,617
法人税等調整額	4,982	452
法人税等合計	8,600	39,070
少数株主損益調整前四半期純利益	79,952	160,618
四半期純利益	79,952	160,618

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,952	160,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,990	△1,551
その他の包括利益合計	△2,990	△1,551
四半期包括利益	76,962	159,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,962	159,067
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	277,961	1,079,236	18,324	1,375,522	1,375,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	277,961	1,079,236	18,324	1,375,522	1,375,522
セグメント利益又は損失 (△)	44,201	△2,000	7,522	49,722	49,722

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	295,243	1,397,620	18,778	1,711,642	1,711,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	295,243	1,397,620	18,778	1,711,642	1,711,642
セグメント利益	61,728	107,685	9,435	178,849	178,849

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。